

環境資源部

(1) 環境資源部予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景・課題

- 1 第二次町田市環境マスタープラン推進計画では、基本目標の1つとして、「地域で取り組む地球温暖化の防止」を掲げ、低公害車の普及促進を図ることとしています。その一環として、燃料電池自動車(FCV)の庁用車導入や小・中学生を対象にした出前講座などを開催することで、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。
- 2 現在の町田リサイクル文化センターは、稼働から35年以上が経過し老朽化が進んでおり、「町田市5カ年計画17-21」では、資源循環型のまちづくりを実現するため、新たに熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)と資源ごみ処理施設の整備を進めることとしています。施設整備にあたっては、市民と協働して進める必要があります。

◆予算編成の考え方

- 1 「町田市5カ年計画17-21」の重点事業である「水素エネルギーの活用」を進めるため、市内に水素ステーションを誘致します。
- 2 「町田市5カ年計画17-21」の重点事業である「循環型施設の整備」を進めるにあたり、周辺地域の交流促進、まちづくりの推進、環境の保全などを図るため、周辺環境整備を進めます。

◆予算編成で重視した取組

- 1 水素エネルギーの活用に向けた取組
 - ・ 水素ステーションの誘致 (共生推進事業費 環境・自然共生課 103ページ)
- 2 新たなごみの資源化施設周辺環境の整備に向けた取組
 - ・ (仮称)蓮田公園及び(仮称)大戸広場の整備 (資源化施設整備費 循環型施設整備課 104ページ)

(2) 6月補正予算 環境資源部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	事業名
4	衛生費				
1	保健衛生費				
5	環境政策費	15,823	0	15,823	
6	環境・自然共生費	9,086	22,000	31,086	共生推進事業費
7	環境衛生費	49,690	0	49,690	
3	清掃費				
1	資源化政策費	1,429,148	0	1,429,148	
2	循環型施設整備費	1,868,801	431,839	2,300,640	資源化施設整備費
3	廃棄物処理費	2,566,660	0	2,566,660	
4	3R推進費	2,066,636	0	2,066,636	
11	災害復旧費				
2	厚生労働施設災害復旧費				
1	衛生施設災害復旧費	2	0	2	
合計		8,005,846	453,839	8,459,685	

※職員人件費、嘱託・臨時職員人件費は除いています。

環境資源部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	8,005,846	355,292	665,101	993,700	2,790,722	3,201,031
補正額	453,839	0	0	135,000	0	318,839
合計	8,459,685	355,292	665,101	1,128,700	2,790,722	3,519,870

(3) 事業別支出科目一覽

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
4	1	6	環境・自然共生費		22,000
			02 共生推進事業費	環境・自然共生課	22,000
			施設整備費補助金		22,000
4	3	2	循環型施設整備費		431,839
			02 資源化施設整備費	循環型施設整備課	431,839
			測量委託料		2,925
			不動産鑑定・評価委託料		9,188
			調査等委託料		314
			造成工事費		2,860
			用地購入費		180,000
			物件等補償料		236,552

(4) 事業の説明

一般会計			款 4	項 1	目 6	環境・自然共生費
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	22,000	0	0	0	0	22,000

新規 2 共生推進事業費						22,000 千円
担当 環境・自然共生課			予算書			17 ページ
財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	0	22,000	

○事業の内容

市民や事業者の地球温暖化防止や生物多様性保全の意識を育む取り組みを「町田市5ヵ年計画17-21」、「第二次町田市環境マスタープラン」、「町田生きもの共生プラン」に基づき進めていきます。

○2018年度6月補正予算における取り組み

燃料電池自動車（FCV）の普及を促進するため、新たに市内に水素ステーションを1ヶ所誘致します。

事業費 燃料電池自動車用水素供給施設整備費補助金 22,000千円



一般会計

一般会計		款 4	項 3	目 2	循環型施設整備費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	431,839	0	0	135,000	0	296,839
2 資源化施設整備費						431,839 千円
担当 循環型施設整備課						予算書 17 ページ
財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	135,000	0	296,839	
<p>○事業の内容</p> <p>町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき、老朽化したごみ処理施設に代わる新たな熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設(容器包装プラスチック、ビン、カン等)を相原地区及び上小山田地区に整備します。</p> <p>また、施設周辺の魅力向上や環境整備のため、公園等の整備を進めます。</p> <p>○2018年度6月補正予算における取り組み</p> <p>資源ごみ処理施設整備に向けた法令手続きの準備等を行います。</p> <p>また、施設周辺の環境整備を促進するため、公園等の整備に向けた各種手続きを進めていきます。</p>						
主な事業費	物件等補償料	236,552千円				
	(資源ごみ処理施設(相原地区))	202,527千円)				
	((仮称)大戸広場整備	34,025千円)				
	用地購入費(資源ごみ処理施設(相原地区))	180,000千円				
	不動産鑑定・評価委託料	9,188千円				
	(資源ごみ処理施設(相原地区))	2,497千円)				
	((仮称)蓮田公園整備	3,515千円)				
	((仮称)大戸広場整備	1,510千円)				
	(その他周辺環境整備	1,666千円)				
特定財源	廃棄物処理施設整備事業債	135,000千円				